

平成 29 年度篠ノ井西中学校グランドデザイン

長野市教育の基本理念

明日を拓く深く豊かな人間性の実現

平成29年度学校重点取組事項

- ◇「しなのきプラン 29」の推進
- 1 基礎基本の定着、2 授業規律・学習規律の確立、3 授業とつながる家庭学習、4 各種調査の活用、5 同僚性の向上

学校教育目標

人権を尊び 自らが高いめあてを持って
たくましく生きる生徒の育成をめざす

具体目標

- 一 礼儀正しく、人の気持ちを大切にする生徒（友愛）
- 二 自ら学び、すすんで発表する生徒（自主・自立）
- 三 ねばり強く、集中してやりぬく生徒（自律、誠実）

平成29年度学校運営の3本柱

柱1

基礎・基本の学力の確かな定着
と「活用する力」の向上

- ◇基本的学習習慣の確立
 - ・チャイムスタート、聴くこと、書くことの徹底
- ◇基礎基本の定着と「活用する力」向上に向けた「教科会の取組」の充実
 - ・「関わり合い」「説明する活動」を視点にした「活用する力」を高める授業づくり
 - ・「活用する力」の評価の充実
 - ・学力調査の分析・考察と授業改善
 - ・各教科の「学力向上プラン」の作成と実践
- ◇効果的な家庭学習の工夫と指導
 - ・学習オリエンテーション、学習の手引き
 - ・小中合同学力向上研究委員会の取組

柱2

互いを尊重し合い、支え合い
高め合う仲間づくり

- ◇豊かな人権感覚の育成
 - ・人権教育の日常化
 - ・人権を考える日、人権教育旬間の実施
 - ・人権アンケートの実施と対応
- ◇日常の生徒理解と集団作り
 - ・長野市「子どもの学校生活の意識を測る質問紙調査」の分析と共通理解
 - ・エンカウンター等の集団づくり活動の推進
- ◇成就感、達成感の共有を目指した行事と諸活動（自尊感情と信頼）
 - ・生徒会の日常活動、クラスマッチ、合唱、銀河祭、清掃、旅行的行事等

柱3

共に育つ生徒理解と生徒指導

- ◇生徒理解を基盤にした組織的対応
 - ・組織的な予防的対応と早期対応
 - ・支援会議の迅速な開催と定期的な開催（情報共有と指導方針の共通理解）
 - ・ふれあい教室の支援体制の充実
 - ・家庭、外部機関との連携
- ◇生徒指導の共通理解と同一歩調
 - ・生徒指導連絡会の実施と日常の報連相（学年、学校体制による組織的対応）
 - ・月目標「凡事徹底」の全校の取組
 - ・うるおいのある学校環境づくり
 - ・家庭、外部機関との連携

平成 29 年度指導の重点

重点1 凡事徹底 「あいさつ」「チャイムスタート」「清掃」

学校運営の柱1・2…「他者の尊重」「コミュニケーション力の育成」「自律」「信頼づくり」

重点2 学び合い 「聴く」「かく」「伝える」

学校運営の柱1・2…「確かな学力の定着」（学ぶ力・考える力・表現力の育成）

重点3 響き合う歌声づくり

全校研究テーマ 基礎・基本の確かな定着と「活用する力」の向上

～友とかかわり合って高め合い、かかわることのよさを感じられる学習過程の工夫～

「自主自立の精神を培う生徒会活動」「達成感を味わい、信頼を深め、誇りをつくる生徒会活動」

生徒会スローガン「熱慮断行 ～刻め 我らの伝統を～」

- ◇日常委員会活動の充実
- ◇凡事徹底の取組
- ◇収集活動
- ◇無言清掃
- ◇あいさつ
- ◇人権集会
- ◇歌声づくり
- ◇銀河祭

キャリア教育の推進 生徒の社会的・職業的自立に向けた、全領域を通じた体系的なキャリア教育の推進

西中の礎

教職員の資質向上 ～学び続ける教職員～

- ◇「活用する力」向上に向けた日々の授業改善
- ◇PDCA サイクルによる指導改善
- ◇ICT活用力の向上
- ◇学校の課題に対応した校内研修会の充実
- ◇教職員として使命感と自覚を促す非違行為防止研修

開かれた学校

- ◇学校自己評価
- ◇学校評議員会
- ◇参観日旬間
- ◇お便り、H.P.による情報発信
- ◇地域との連携(地域連携教育懇談会、地区懇談会
- ◇あいさつ運動への参加、学社連携人権教育研修会)

安心して信頼される学校

- ◇迅速で誠意ある対応と、共通理解に立った組織的対応
- ◇防災教育の充実
- ◇定期的な交通安全指導
- ◇定期的な安全点検と迅速な修繕
- ◇警察機関との連携
- ◇不審者情報等の発信